

特長ある商品で業務に助

高齢者施設向けに様々な商品・サービスが開発・販売されている。その数は増加の一途だ。魅力あふれる商品、サービスを紹介する。

テクリコ (大阪市)

MRで広がるリハビリの可能性

MR (複合現実) を用いた「リハまる」は、現実と仮想空間を組み合わせてリハビリを行うことができる。VRのように完全に仮想空間ではない」と説明する坂本憲太氏。利用者には、宇宙や異世界にしているような錯覚をさせるのではなく、生活している日常生活空間に映し出された仮想空間を見せる。これを見ながら、現実世界でリハビリを行っている。

坂本氏は「背景に日常生活空間が見えるため、酔うことも転倒リスクもありません」と話す。例えば、和室でリハビリを行う場合、ゴーグルを装着すると畳の上に数字が映し出される。「今日は何日ですか?」などの問いかけに、利用者は、該当数字に触れるように出す。ほかにも、テーマの色の花を揃んでもらう。注ブルやベッド脇などに、花の映像を投影し、特定の色の花を揃んでもらう。注意力・記憶力・空間認知力・遂行機能などを高められる様々な高次脳機能障害にアプローチしたコンテンツを用意している。リハビリの検査・訓練結果は、データとして蓄積されるため、データを基にしたトレーニングメニューを組むことも可能となる。

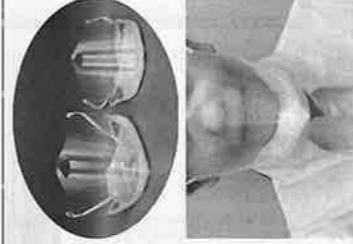


「認知機能の低下など早期に気づくこともありません」と話す坂本氏。この最先端技術は、高齢者も抵抗なく楽しくめると積極的に利用されている。

栄商会 (浜松市)

顔の表情がわかる防曇透明マスク

マスクで顔の表情がわからないという課題を解決した「ルカマイ」。マスクの上部は透明フィルムを、顎部分には不織布を付けたマスクである。透明フィルムを鼻まで密着させることで、飛沫を防止する。硬質セルロースフィルムを使用し、防曇性能を維持したまま繰り返し使うこともできる。息はフィルムにあたり下に抜けていく。表情を隠さず使用できるため、嚥下体操を行う際などに便利という声もあがる。特許取得商品。



一般社団法人健康労働支援協会 (群馬県高崎市)

介護を学べる日めぐりカレンダー

「介護にそなえる日めぐりカレンダー」は、介護の知識やコトを自然に学べるサポートツール。例えば、車椅子での段差の超え方や杖の合せ方、福祉用具の使い方など。理学療法士が、デイサービスでの勤務経験を基に専門知識・コトを家族に伝えたいと開発した。日めぐり仕様で、1日1事例を簡単に学べるようになっている。介護が必要になりそうなる当事者やその家族だけでなく、介護現場でのスタッフへの意識づけや利用者とのコミュニケーションツールとしても活用できる。



加藤貿易 (東京都港区)

足首に装着し転倒予防

ラクラク歩行シリーズの「転倒予防サポーター」は靴下を履くように足首に装着する。すねの前から足関節の前にある筋肉 (前脛骨筋) を補助することで、転倒を予防する。加齢とともに弱くなったり硬くなったりする足関節の背屈力をベルトの収縮力でサポートする。自分でテーピングする場合は、ベルトの収縮力でも簡単につま先が自然と上がるよう補助ができ、転倒を防ぐ。歩くことに前向きになれるため、行動範囲が広がりがアクティブな生活を送る一助となる。



開発者の視点

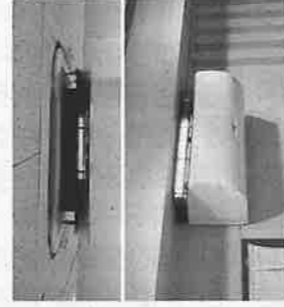
競輪選手のセカンドキャリア エアコン利用の紫外線殺菌装置開発

ラ・ポルタ (静岡県富士市)



代表取締役 勝見 登氏 (58)

コロナ感染拡大を少しでも抑えるために、できることは何か。LED照明の施工・設計などを手がけるラ・ポルタ (静岡県富士市) 代表取締役の勝見登氏は、照明の知識と技術を用いて紫外線殺菌装置「エアトウイン」を開発した。同製品は、(家庭用壁掛けエアコンの場合) 上部に取り付けることでファンを使用せず、エアコンの吸い込みを利用してウイルスを紫外線殺菌装置に集めて不活性化させる



▲エアコンからの風を利用して殺菌

もの。勝見氏は「エアトール感染を防ぐには、空気中のウイルス濃度をどれだけ早く減らすかがカギ」と言う。紫外線強度計での計測・照度シミュレーションを実施。紫外線光をコントロールし、設計した殺菌された空気は、エアコン内を通り抜けるため、内部に発生も抑制される。勝見氏は、「殺菌された空気が室内を循環するため、換気にか

ついで育てなければならなかったという。昼夜問わず、時間おきのトイレ介助。朝は子どもたちの弁当づくり。疲弊していく心に「無理心中を考えたこともあった」と当時の想いを語る。それでも続けられたのは、今できることをしようと行動してきた

▲設置を行う勝見氏



競輪選手として活躍した勝見氏。19年間、競輪車を走り続けた男が、自身の祖母と母の面倒をみるため引退し、介護生活をスタートさせた。さらに、ふたりの息子も男手ひとりで育てなければならなかったという。昼夜問わず、時間おきのトイレ介助。朝は子どもたちの弁当づくり。疲弊していく心に「無理心中を考えたこともあった」と当時の想いを語る。それでも続けられたのは、今できることをしようと行動してきた

Panasonic

ICT介護業務支援サービス 『LIFELENS』

『LIFELENS (ライフレンズ)』はご入居者のお部屋での状況・状態をリアルタイムで把握できる次世代型見守りシステムです。

『LIFELENS』が選ばれる理由

- ご入居者の安眠を阻害しない介護
- 介護スタッフの防置レスを促す介護を『LIFELENS』がアシストします。



LIFELENS

ヒトの五感をアシスト

「まず訪室」から「見て訪室」へ



ご入居者居室

みまもりビューアー



介護スタッフ



体動センサー



映像センサー

拍動や呼吸などによる微細体動を検知 お部屋を遠隔から映像で確認

ニーズ。ご希望に応じて複数のセンサーの中からお選びいただけます。

各自治体 介護ロボット 助成金対象製品

With コロナ 介護スタッフの負荷軽減・人材確保対策

介護現場の生産性向上・働き方改革



個別相談会を実施致します。お気軽にお問い合わせください。

接触率の低減で感染リスク回避

お問合せ：ハナソニック コンシューマーマーケティング株式会社 03-5782-7903